



福井県DXの取組み

令和4年11月9日

福井県

総論

01 福井県政運営の基本原則

- 徹底現場主義（県民主役）
- チームふくい（連携）
- チャレンジ
- 政策オープンイノベーション

長期的視点	長期ビジョン 等
創造性重視	政策デザイン（デザイン思考・EBPM）、チャレンジ政策提案 等
機動的視点	職員クレド（現場・挑戦・協働・創意工夫・効率化）、OODAループ 等
総合力発揮	市町長との政策ディスカッション、県民アクション「ちょい足し応援」 等



福井県長期ビジョン
(令和2年7月策定)



長期ビジョン策定に向けた
若者とのワークショップ

同じ目標に向かって様々な挑戦が生まれ、
大きなインパクトになるように

02 福井県DXの取組大要

令和3年4月より全県でDXを推進

地方の実情

県民・市町・産業にて
お悩みの方多数

- ✓ DXとは何か
- ✓ 何がどう変わるか
- ✓ どう進めるか

生活の質が高い故
変化の必要性を感じない

都市部との環境格差

デジタルサービスの

- ✓ 提供状況
- ✓ 利用環境

都市部への
デジタル人材偏在

(水面上)
**利便が実感できる
デジタルの取組**

機運醸成
肚落ち

両面から取組



業務遂行に向けた基盤整備
(各部署専門知識×デジタル推進)

(水面下)
**全県挙げた
DX遂行を支える
土台・仕組み作り**

県民生活密着型サービスの先行提供

- コロナ対策・地域課題対応・デバイド/産業支援
- ✓ 豪雪地帯 ▶ 除雪・道路情報可視化
 - ✓ 車社会・交通事故多発 ▶ 危険区域可視化 等

機動的な事業化

DX事業の期中拡大
(47 ▶ 73事業)

方針策定

- ✓ ビジョン・行動規範・DX政策集

推進体制整備

- ✓ CDO配置・DX推進組織拡張
- ✓ 意思決定機関(トップダウン)
- ✓ 現場実行体制(ボトムアップ+自走仕組み化)

意識変革

- ✓ 知事率先垂範・CDO全庁研修

人材育成確保

- ✓ 研修体系整備(座学・実践・伴走型の3層)
- ✓ 職員採用DX枠創設・兼業型委嘱制度導入

デジタルシフトを促す制度設計

- ✓ 予算編成重点枠新設・ペーパーレス制度導入

情報システム整備

- ✓ クラウド基盤・相談受付体制・取組可視化

県

機運醸成

- ✓ CDO研修
- ✓ 出前講座

取組共有

- ✓ 県市町共同ワークショップ
- ✓ 産業団体との共同研究

共同PJ実施

- ✓ DX事業
- ✓ シビックテック
- ✓ システム共同利用

市町・産業との連携

03 デジタルの取組の特徴

生活に密着した利便を実感いただき、DX推進の機運を醸成

① 県民目線・生活密着型の課題解決

大雪対策DX
(即時の除雪状況等可視化)



交通安全対策DX
(隠れた危険エリア可視化)



② 県民ニーズによる政策執行の再デザイン

わかりやすい情報発信
(HP解析によるニーズ即応)



政策形成への県民参加
(意見傾聴の場を実証運用)



③ 県民参加型の取組

シビックテック
(現場首長・Code for等と協働)



限界集落へのドローン物流
(地域住民との共同実証)



④ 外部パートナー協業 (民間・スタートアップ等)

未来技術活用PJ (民間協業での地域課題解決) **コロナ対策 (福井モデル)** (データ分析・自動化・遠隔診療)



積極的疫学調査
幅広い検査
経路不明
2.1%
エビデンス
感染場面の特定
マスクなし会話
95%



04 DX遂行を支える土台・仕組み作り

「各部署の専門知識 × デジタル」を進める基盤を整備

DXプログラム策定
(ビジョン・行動規範・方針・政策)

情報システム整備

- クラウド基盤
- 相談受付体制
- 取組共有・可視化



研修・セミナー 累次開催

- CDO・補佐官より：
県全庁・市町・県民向け

デジタルシフト制度導入

(予算編成方針・ペーパーレス)

□ **DX推進本部** 設置
(トップダウン：意思決定機関)

□ **DXリーダー** 組織
(ボトムアップ：現場実行体制)

□ **DX推進組織** 再編拡充

□ **研修体系** 整備
(座学・ハンズオン・伴走の3層型)

□ **採用制度等** 新設
(DXアピール枠・CDO補佐官委嘱)



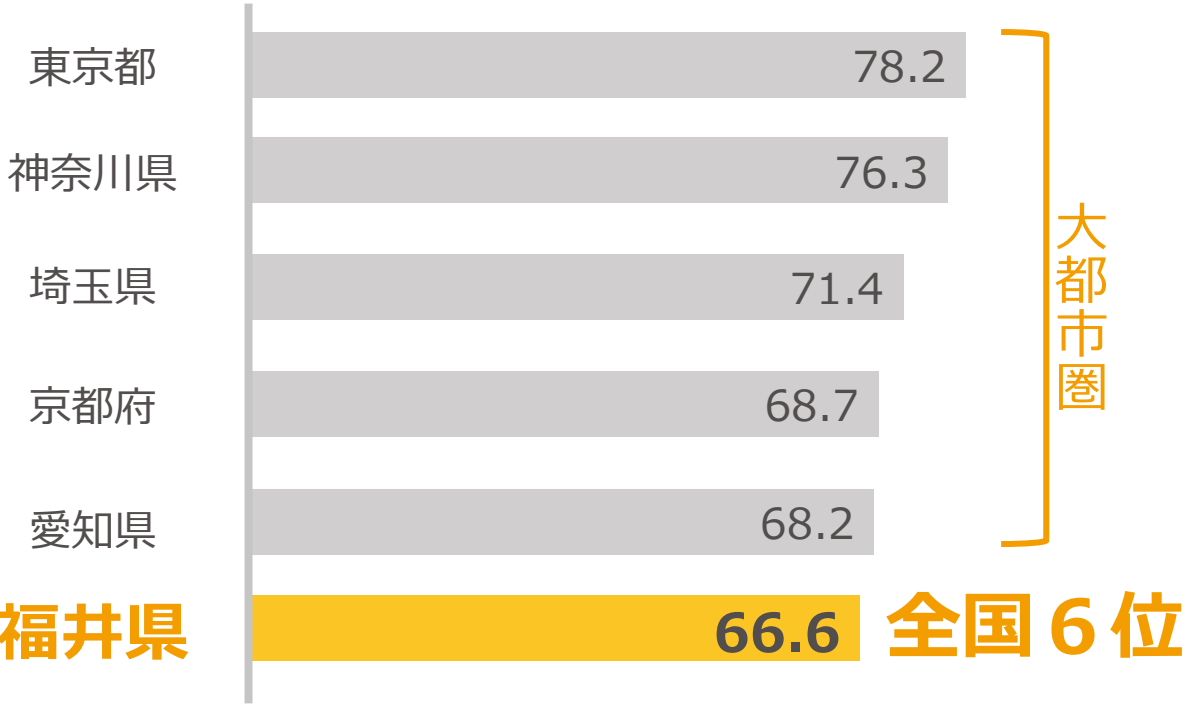
□ **市町との連携体制**
(講演・ワークショップ・共同事業・システム共同利用)

□ **産業向け支援体制**
(拠点整備・出張伴走・人材育成・資金支援等)

05 DX推進の熱量の高まり①

地方発DX推進の最先端を目指して取組み

都道府県別デジタル度（野村総合研究所）
大都市圏に次ぐ全国6位の評価



自治体DXアワード（日本経済新聞）
DXリード部門賞受賞

【第三種郵便物認可】 【全面広告】 日本経済新聞

NDF 日経デジタルフォーラム
NIKKEI Digital Forum

第1回 日経 自治体DXアワード

— 部門賞 —

- DX リード** ○愛媛県 ○磐城 ○都城市(宮崎県) ○福井県 ○三重県
- デジタル人材育成 ○真岡市(栃木県) ○(愛知県) ○北九州市
- 行政業務/サービス変革 ○豊田市(愛) ○北九州市
- 地域産業デジタル化推進 ○倉敷市・井 ○北九州市
- 地域リテラシー啓発 ○都城市(宮)

福井県
他自治体の手本となる
全庁的なマネジメント体制の構築等

(出典) 野村総合研究所「DCIにみる都道府県別デジタル度」(2021.11)

(出典) 日本経済新聞(2022.4.4朝刊)

06 DX推進の熱量の高まり②

取組→評価の好循環により、現場の業務改善・意識変革が進展

全庁RPAキャンプ
年間1万時間の削減

職員によるシステム内製化
約30の自発的取組

日々改善のマインドと機動的対応
令和3年度は期中+15事業




詳細 ...

RPA作ってみた～財務会計システム～
2021/06/04に 向川 友博 が公開しました
会社 352 @ 7♥

RPAソフトを使って、財務会計システムの自動入力を作成しました。

〇〇〇〇来場者登録サイト
～福井県～

来場ありがとうございます。
新型コロナウイルス感染症対策として、来場者の方に氏名・連絡先等の登録をお願いしております。
入力フォームから登録をお願いいたします。

名前 (例: 福井太郎) *

福井太郎

電話番号 (例: 0776200001) 数字のみで入力してください。 *

0776-20-0001

同行者数 (選択してください) *

4



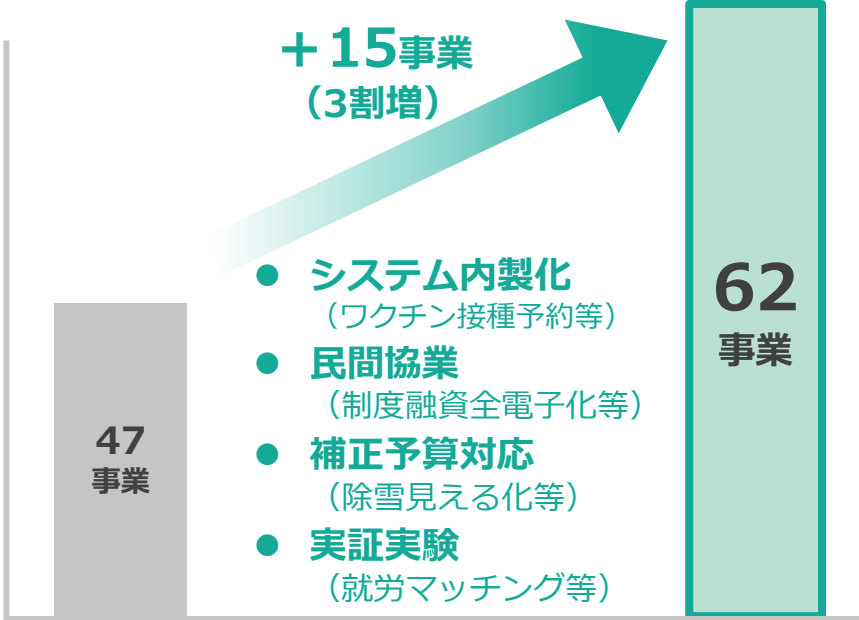
感染防止徹底宣言店舗一覧

17.12K

店舗名	業種	所在地
HOTEL NEXT RESO GRAND	ホテル	福井県福井市南町1丁目11-1
SP-ONE	お祭り・祭り	福井県福井市南町2丁目4
SHIBUKAWA	飲食店	福井県福井市南町7丁目11-1
株式会社 津田	建設業	福井県福井市南町1丁目101
福井県労働者福祉センター	福祉施設	福井県福井市南町1丁目100-7
福井県労働者福祉センター	福祉施設	福井県福井市南町1丁目100-7
福井県労働者福祉センター	福祉施設	福井県福井市南町1丁目100-7
福井県労働者福祉センター	福祉施設	福井県福井市南町1丁目100-7

QRコード読取式
来場者管理システム

「感染防止対策店舗」
情報表示



R3期首

R3期末

07 DX推進の熱量の高まり③

全庁的にポストコロナの社会変革に向けて邁進

健康医療

へき地オンライン診療実証
(予約・診療・処方・配送)

「オンラインで問題なく行える
マスク越しでない診療は利点」

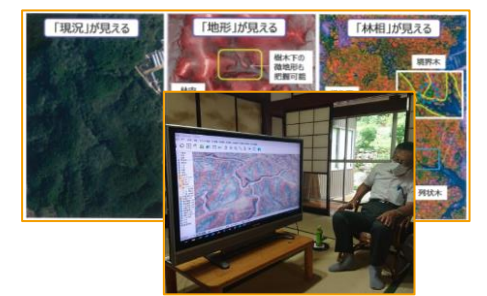


農林水産

林業DX

(航空レーザー計測・森林情報共有
・適地選定・調査立会省力化等)

施業地確保加速による生産拡大



安全対策

データに基づく交通対策
(EBPMによる速度規制)

実運転挙動データを用いた
対策エリア選定
(今後、対策前後の走行データ分析を予定)



観光誘客

観光データ分析基盤構築

(アンケート、移動/消費データ等
を連携・分析)

DMO・事業者等における
マーケティング活用



08 今後の取組

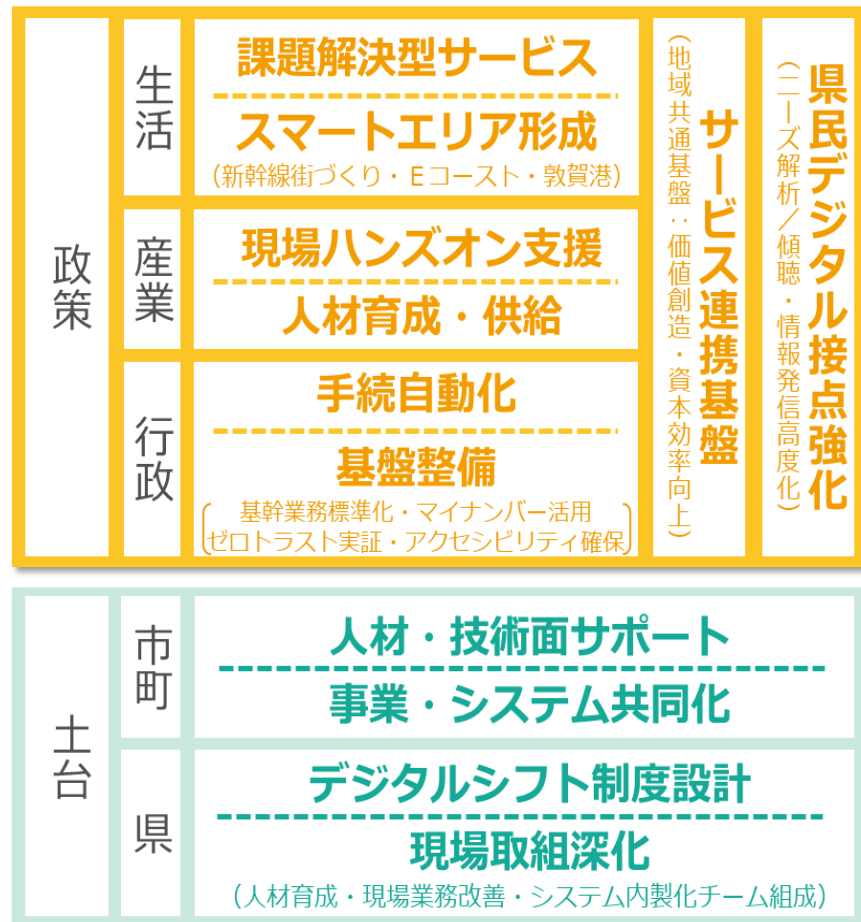
現場取組の拡大深化、行政電子化・地域活性化を徹底

政策	生活	利便実感の取組 先行実施
	産業	企業の前向きな 取組を支援
	行政	ペーパーレス システム内製化
土台	市町	県取組共有 共同事業
	県	仕組み作り 1組織1取組

これまで

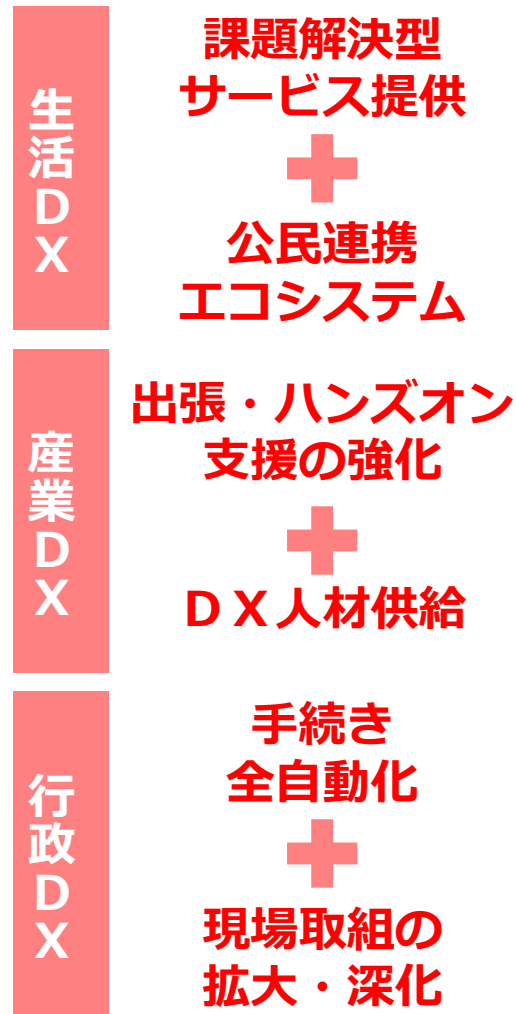


考慮すべき変化



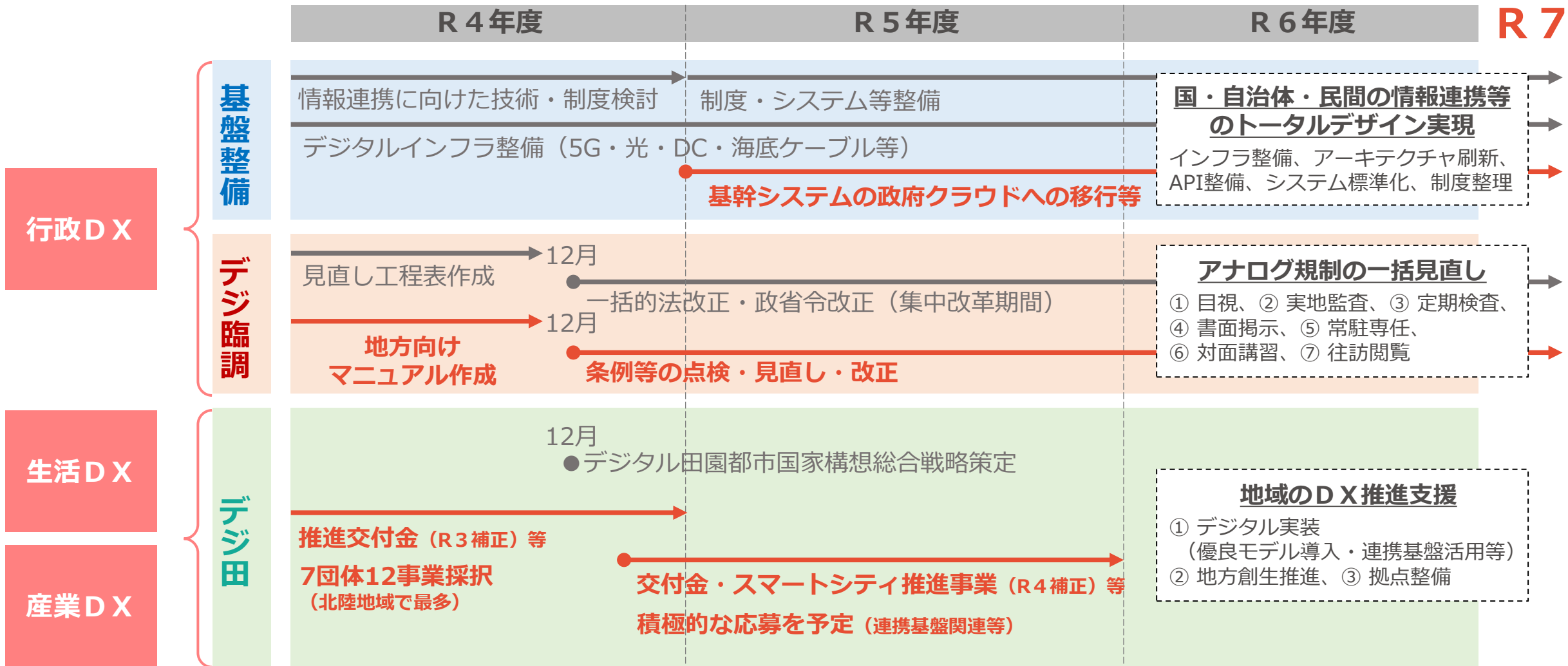
R4年度～

スマートふくいを実現



09 国の動きとも連携

令和7年度をターゲットに、意欲ある自治体として取組み



行政DX

11 行政DXの取組 (県：令和4年度)

現場取組の拡大深化、行政手続の自動化を目指して取組み

① 現場生産性向上

業務改善
(ローコード：40超の全庁取組)



人材育成方針策定
(スキルマップ等体系化)

要件	役割区分	習得すべきスキル
戦略・組織運営	・経営マネジメント層（管理職） デジタル技術を活用した事業運営の監督、所属内の推進体制構築、人材配置育成	1 リーダーシップ 2 人材育成 3 組織文化の改善 4 インフラシステム管理
プロジェクト運営・専門スキル	・プロジェクトリーダー層（専任以上） デジタル技術等を活用した事業推進の専任役員	1 プロジェクトマネジメント 2 DX実践知識 3 企画・デザイン、データ分析、クラウド、IoT、AI、ネットワーク、内製化、デジタルマーケティング等 4 DX推進ノウハウ
リテラシー・知識	・一般職員 実際に参画・実行 ・DXリーダー 内閣府のDX推進を支援（一部研修必須化し、より高度なスキルを取得）	1 DX基礎知識 2 デジタル技術、データ活用、デザイン思考 3 業務改善 4 システム開発・運用 5 アプリ開発・IT連携等 6 英語力 7 DXとは何か 8 実証活用事例 9 情報セキュリティ・コンプライアンス 10 ハンズオン型実践

② DXコミュニティ活性化

全庁的な参画
(1年で1,000名超参加)



相談受付・事例共有
(毎日数十件の職員投稿)



③ 県民利便性向上

電子申請 (手続9割電子化) **施設予約** (直感的UI・電子納付) **情報共有** (害虫・道路損傷等)



④ デザイン思考・EBPM実践の強化

ホームページ見直し (アクセス解析：情報精度向上) **デジタルマーケティング** (データ分析：機動的対応)



12 行政DXの取組 (市町支援)

市町の取組も進展、基幹業務のクラウド移行に向けて支援

令和3年度

● 意識変革・熱量醸成

✓ 県CDOセミナー 7回

(各市町、副市長町長会、市町議員等) ※計14回開催



✓ 共同ワークショップ 4回

(関係構築、取組ノウハウ共有、実践研修、検討事業共有) ※計8回開催



● 共同事業取組

✓ 共同DX事業 7市町

(PJ誘致、民間連携、ハッカソン)



✓ システム共同利用

(電子申請、施設予約、電子調達、ふく割、セキュリティクラウド、みち情報ネット等)

令和4年度

(県内全17市町)

市町の取組推進

● 推進計画策定 ▶ 12市町 (年度内)

● 推進体制整備 ▶ 10市町

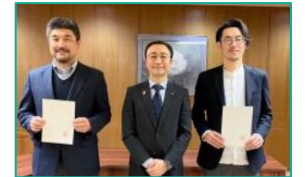
● クラウド基盤導入 ▶ 4市町 (+ 2 検討中)

● デジ田事業採択 ▶ 6市町9事業 (国費2.5億円)

支援強化

● 人材・技術面サポート

(民間デジタル人材による相談対応：推進計画策定、個別事業検討等)



● データ連携基盤活用

(健康管理、MaaS、施設予約等を議論)

● 基幹20業務システムの政府クラウド移行

(全市町での課題・取組共有、セミナー開催等により支援)

産業DX

13 産業DXの取組（令和3年度）

環境整備・相談体制構築・人材育成・資金支援の土台を整備

① DXオープンラボ開設



県内中小企業のDX推進拠点
(公財 ふくい産業支援センター)

- 拠点整備（5GBase等）
- コミュニティ機能
- DX推進チーム配備
(DXアドバイザー&専門家)

② DX推進チームによる支援



専門家派遣・支援機関連携

- 専門家支援 144件
- 企業への派遣 50社
- 勉強会・研修会 延べ
実践セミナー 1,000名超

③ 人材育成



- エンジニア養成スクール開講
約300時間のプログラムを提供
(35名修了・4割県内就職)
- 企業内のDX人材育成
企業内DX推進を目的に
県内企業の社内人材を育成

④ 資金支援



IoT・AI・ロボット導入補助金
(中小企業へ先端技術導入を促進)

- 【取組事例】
AI画像検索システム導入による
検品作業自動化 等

14 産業DXの取組（令和4年度）

伴走支援強化、即戦力人材確保、モデル企業育成により裾野拡大

① 伴走支援の強化



- **相談業務**
DX推進チームによる相談増加
（5カ月で昨年同期を超過）
- **出張相談**
商工会議所・商工会と連携
（20回、44社支援）

② 人材確保策



- **外国人人材モデル登用**
産業支援センターから派遣
（1社目：約半年の研修実施中）
- **県外人材雇用**
県外IT人材雇用時に補助金支給
- **エンジニア養成スクール**
産業界の要請に応じ、
実践的カリキュラムへ見直し

③ モデル企業の育成



- **社内体制整備支援**
専門家を重点的に派遣
（5社支援）
- **ふくいDX推進宣言企業**
専門家派遣の上、経営トップ
自らDXを推進（9社登録）

④ 投資補助



- **DX加速化補助金**
企業の規模・投資規模に応じ、
DX導入初期投資を支援（23件助成）
※小規模事業者の補助率を拡充（2/3）

15 産業DXの取組（徹底現場主義の取組）

県民・企業の目線・日常密着型でのデジタル利用を支援・促進

① 消費喚起策とセットでのDX促進

電子クーポンアプリ「ふく割」

（県民の半数超38万人が、県内5,300店舗で日常的に利用）

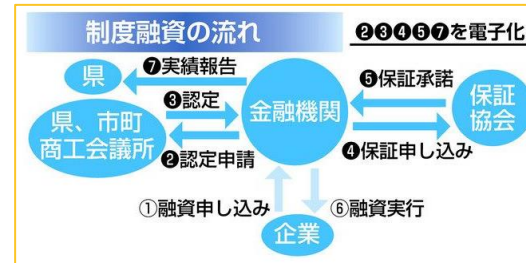


市町連携

若者対象

② 県制度融資の全手続き電子化

申請から融資実行まで、事業者の資金需要に迅速対応



- 県内8金融機関、商工会議所、県信用保証協会等と連携
- 最短10日程度から半減
- 郵送等廃止による作業効率化
- 電子化協議会を立ち上げ

③ スマート農林水産業の推進

自動運転機・ドローン活用
（負担軽減・収益性向上）



AIによる生育判定
（カメラをかざして生育診断）

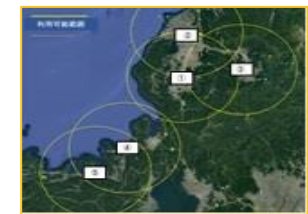


④ 産業活用のデジタル基盤整備

県民衛星データ活用
（防災・土木森林農地管理等）



GPS固定基地局運用
（県内全域をカバー：高精度作業）



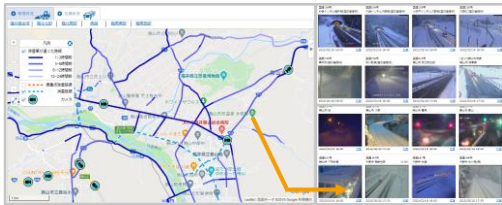
生活DX

16 【再掲】生活DXの取組（令和3年度）

生活に密着した利便を実感いただき、「目の前の課題」を解決

① 県民目線・生活密着型の課題解決

大雪対策DX
(即時の除雪状況等可視化)



交通安全対策DX
(隠れた危険エリア可視化)



② 県民ニーズによる政策執行の再デザイン

わかりやすい情報発信
(HP解析によるニーズ即応)



政策形成への県民参加
(意見傾聴の場を実証運用)



③ 県民参加型の取組

シビックテック
(現場首長・Code for等と協働)



限界集落へのドローン物流
(地域住民との共同実証)



④ 外部パートナー協業（民間・スタートアップ等）

未来技術活用PJ
(民間協業での地域課題解決)



コロナ対策（福井モデル）
(データ分析・自動化・遠隔診療)



17 生活DXの取組（令和4年度：データ連携）

公民共助モデル構築により、「課題解決の仕組み」を变革

サービス連携基盤（サービスありきでの連携）
子育て世帯にクーポンをプッシュ配信

基盤を市町民間へ開放し、産官学民で公を担う共助モデル構築
地域課題解決の在り方（仕組み）を变革

地域課題解決サービスを創造

- 汎用API接続（低コスト・短期間）
- マイナカード活用（公的個人認証）
- データ分散型連携基盤

マイナンバーカード



本人確認

福井県ポータルアプリ



連携基盤

子育てメディア

4万人登録



API

クーポン発行アプリ

38万人登録

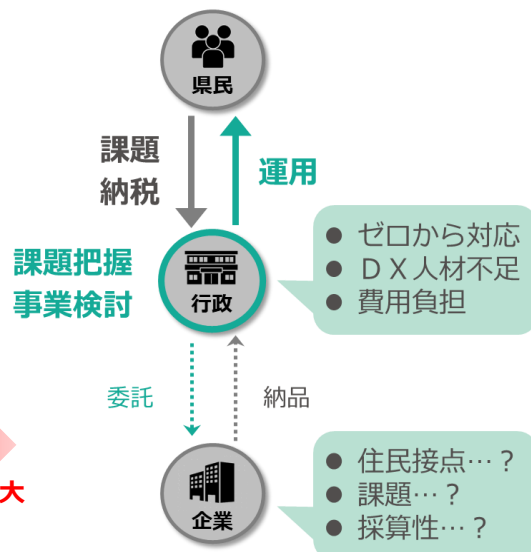


API

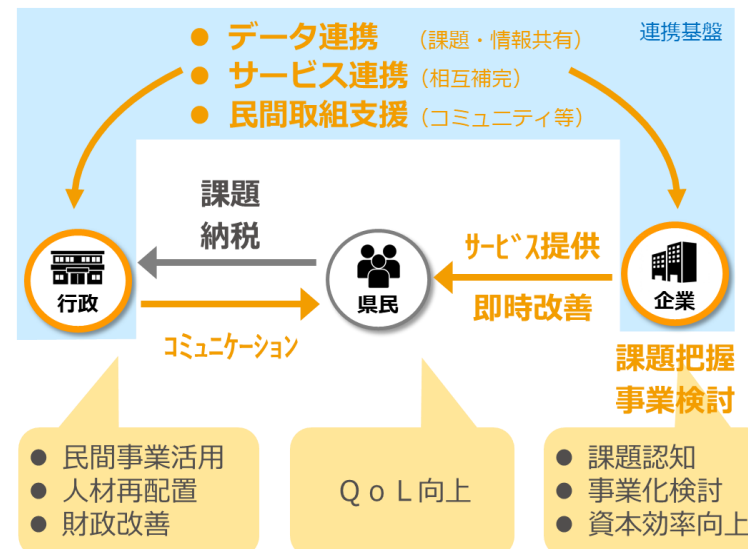
子育て世帯に
クーポン提供

連携サービス拡大

これまで



これから （県民を中心に「共助」の社会へ）



補論

18 地方におけるDX推進に向けて

基盤整備（インフラ・人材・制度等）、実装加速化支援等が必要

デジタルインフラ の整備促進

- 有線・無線BB整備に係る速やかな対応、従来からの支援制度の拡充
- マイナンバー・マイナンバーカード利用拡大に向けた取組推進
- 通信障害・誹謗中傷・サイバーセキュリティへの対策強化 等

デジタル人材 の育成確保

- 人材育成体制の構築
- （官民間問わず）都市部遍在の人材還流の取組み・財政支援 等

自治体DX推進

- 基幹業務標準化等に係る人材・財政支援、早期情報提示（ベンダー指導含む）
- クラウドバイデフォルト原則に基づくサービス活用の環境整備 等

デジタル実装 の加速化

- 地域の実情に応じた弾力的な交付金制度（民間とのアジャイル協業や実証等を可能に）
- 地方自治体の前向きな取組を支える財政支援 等



みずから・みんなで・ふくいをカエル

オタマジャクシからカエルに変態 (Transformation)

未来へ大きく蛙飛び